

2学期をふりかえって

さまざまなことがあった2学期。高校2年の2学期は高校生活の中で最も行事が多く内容の濃い時期です。その中でも修学旅行は高校時代に1回しかない貴重なものでした。

沖縄と言えば「青い海、青い空」が浮かびます。豊かな自然、^{おだ}穏やかに流れる時間、温かい人々。沖縄の魅力をあげればきりがありませんよね。しかし、67年前には悲惨な沖縄戦があったことをわすれてはなりません。みんなは沖縄での平和学習で「平和祈念公園」「平和の礎」「ひめゆり資料館」を見学し、元ひめゆり部隊の方から戦争中の体験を直接聞きました。事前学習で沖縄戦のことやひめゆり部隊のことを学んでいたこともあり、資料館を見学しているみんなの態度はたいへん真剣で、目を背けたくないような写真や解説文にも向き合っていた姿が心に残っています。

「ガマ体験」でも当時の沖縄の人々の生活の困難さや苦しみを自分のこととして感じようとする姿勢を多くの人が持って取り組んでくれているように見えました。平和学習にとりくむみんなの姿は本当に自慢したくなるほどすばらしいものでした。

帰ってから書いてもらった修学旅行アンケートの中に「自分の想像よりはるかにひどかった。今こうやって「普通」に生活していることが当たり前じゃなく幸せなんだと心から思いました。^{だきよう}妥協せずに頑張る。」「涙が止まりませんでした。今の自分がどんなに幸せなのかを改めて感じました。」「ガマ体験では、怖がるというよりも、むしろ感謝する気持ち出入り、しっかりと祈ってきました。」という言葉がありました。今もおぼえていますか。今の幸せ

に感謝して毎日を生活していますか。この時の思いが2学期の生活に反映されていませんか。

2学期の欠席数は、去年の2学期の欠席数よりも350近く増加してしています。遅刻数に至っては去年より400弱も増加しています。この増加を^{ひとこと}他人事と思わないでください。一人ひとりの意識と行動の結果です。この欠席・遅刻の数の多さは、自分の進路（生きる道）を自分で^{せぼ}狭めてしまうことになります。今の自分に負けて、未来の自分の幸せを減らしてしまうのは愚かなことです。3学期は改善しなくてはなりません。

12/19の学年集会で進路部長の大倉先生から「高校卒業で就職した場合の生涯賃金は約2億円、アルバイトで過ごした場合の生涯賃金は4000万円」という話がありました。この現実を考えたとき、高校生活をしっかり送って卒業するように努力することの大切さがわかるはずです。

この冬休みから自分の進路のことをリアルに考えよう。自分は「何を学びたいのか」「どんな仕事か」「それにはどんな資格が必要なのか」「そのためにはどんな学校に行く必要があるのか」「進学には1年目にお金がどのくらい必要なのか」これらを自分で調べて考え始めよう。自分の進路です。自分がリアルに行動を起こすことが大切です。

3学期の始業式は1/7(月)です。新年ですから欠席、遅刻のないように。そして整容指導があります。頭髪、服装をきちんとして登校してきてください。くれぐれも髪を染めたりしないように。スタートが肝心です。

それでは良いお年を (^_^)v